

# 大野パッキング株式会社

## (1) 事業所の概要

○所在地：大野市上野57-1-1

○創業：昭和43年4月

○代表者職・氏名：代表取締役 山下 和与

○業種：製造業

○従業員数：53人

○事業内容：紙管製造

## (2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

### 【取組みの目標】

社員が心身ともに元気に働け、安全、安心な職場を目指す

### 【取組みの内容】

⑤食生活の改善：自動販売機の横に「高血圧」「高血糖」の注意喚起ポスターを掲示。ヘルシーメニューを提供する弁当事業者を利用している。

①定期健康診断：年1回定期健康診断を行うため検診車を呼び役員及び社員が受診しやすいようにして受診率アップに務めている。

②精密検査が必要な従業員：精密検査が必要とされた従業員に対し受診を促し、受診のフォローをしている。

⑥特定保健指導：特に健康の保持に勤める必要がある従業員に対し保健師による健康指導の機会を設けている。

⑦運動機械の増進：毎朝始業時にラジオ体操を行っている。

⑨メンタルヘルス：メンタルヘルス相談窓口担当者を従業員に周知し、相談しやすい環境を作っている。令和3年から年間休日数108日を110日に2日増加させた。令和4年から有給時季指定日を3日設定し有給休暇の取得促進を図った。

⑩感染症予防：各現場にアルコール消毒液を設置、手洗い場には除菌用石鹸やハンドソープを備え置きしている。従業員全員にマスクを配布している。除菌シートを備蓄しており、必要な従業員に配布している。

### 【取組みによる成果】

⑤自販機利用時に従業員の嗜好を確認し、糖分のない飲料を推奨。お茶や無糖コーヒーの利用が増加。

①定期健康診断の受診率は100%に近づいた。

②精密検査が必要な従業員に対して精密検査の受診を個別に指導していることで、受診者が増加。

⑥特定保健指導により、従業員自身が健康に留意するようになってきた。

⑦作業前に体をほぐし体調の確認を行え、目覚ましにもなって事故の発生防止につながっている。

⑨相談しやすい環境づくりにより、気軽に相談されるようになった。休日を増加させたことで、リフレッシュにつながっている。

⑩感染対策を行うことで、取引先に迷惑をかけることなく供給責任を果たしている。また従業員の各種予防対策設置により、安心して作業を行えている。

## (3) 今後の健康づくりの取組み

### 【今後の目指す姿】

従業員の心身の健康維持に今後も注力し、従業員の健康が会社の利益との意識のもと、従業員が安心して働ける職場環境を目指したい。

【重点的に取り組む内容】ハラスメントの禁止の徹底や健康指導を強化し、従業員さらなる心身の健康増進に努力していく。